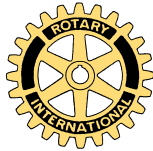
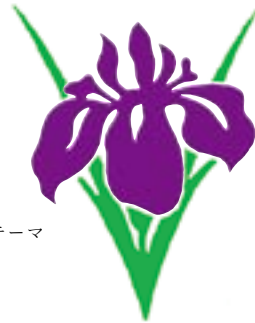


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日  
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566)22-2111  
FAX (0566)25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 太田 宗一郎  
幹事 杉浦 文雄  
会報委員長 小川 耕示

2010 ~ 2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2695回例会プログラム

[当年度=14回目; 当月=1週目]

2010年(平成22年)11月1日(月)

## 1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. 国歌斉唱  
5. ロータリーソング斉唱……奉仕の理想  
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
7. 食事
- 12:45 8. 会長挨拶並びに会長報告  
9. お祝い  
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)  
10. 幹事報告  
11. 出席報告  
12. 委員会報告  
13. ニコニコボックス報告  
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(11/8) ……クラブフォーラム  
(ロータリー財団委員会)  
卓話 「R財団の新しい流れ」  
講師 地区ロータリー財団委員会  
委員長 深谷 友尋 様  
(名古屋みなとRC)  
(紹介者 野村紀代彦 会員)  
(11/15) ……新入会員アワー 中松 健一 会員  
" 宮廻 和正 会員  
※職業表彰(職業奉仕委員会)

- 13:00 15. 本日のプログラム  
卓話 「天寿を生きる」  
講師 財団法人 長寿科学振興財団  
理事長 祖父江逸郎 様  
(紹介者 橋 典子 会員)

16. 謝辞  
17. 点鐘……〈会長〉  
18. 閉会宣言

13:30 19. 散会

## ゲ ス ト

青少年交換学生 ステファニー 様

## 出 席

会員総数 92名 出席免除 26名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 84名  
欠席 8名 出席率 90.48%  
前々回(10/18)の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

## 1) 指名委員の発表

2011~2012年度  
次期理事役員候補者指名委員の発表  
(理事申合せ事項第1条)

委員	平野 和一	(会長経験者)
委員	岡本 戡紘	(会長経験者)
委員	盛田 豊一	(会長経験者)
委員	橋本 恭典	(会長経験者)
委員	塚本 幸夫	(会長経験者)
委員	岡本 巧	(直前会長)
委員	太田宗一郎	(会長)
委員	霜出 俱弘	(副会長)
委員	杉浦世志朗	(会長エレクト)
委員	杉浦 文雄	(幹事)
委員	市川 裕大	(副幹事)

以上11名

会員の皆様には、次年度の理事役員候補者の推薦がございましたら11月30日(火)までに、指名委員にお申し出下さい。

2) 關淳之会員が沖縄那覇南ロータリークラブでメーキャップしてみえましたのでバナーを回覧します。

## 幹事報告

- 1) 本日例会終了後「ロータリーの森構想の推進について」の会議を3階中会議室にて行いますので関係の皆様よろしくお願い致します。
- 2) ひかりの家支援事業の労力奉仕日程11月8日、11月15日ございます。メンバーを募っておりますので協力よろしくお願い致します。

## 委員会報告

### ●雑誌委員会

- 1) 11月はロータリー財団月間です。特集は未来を開くロータリー財団として組まれており沢山の記事が載っております。また南会員の前には、募金箱が口を開いて待っております。私自身も今年度未だ入れさせていただいておりませんので早く入れたいと思います。もう一つ、今週の1日から7日までがインターアクター週間で20ページから28ページまでインターアクターの活動についての心構えや感じたことなどの記事が載っており、第2760地区の記事も2件ありますのでご確認ください。以上です。

## 会長あいさつ

### 芸術の秋

太田宗一郎



朝晩めっきり涼しくなり紅葉の話も聞かれる季節となりました。

秋。食欲の秋。スポーツの秋。読書の秋。芸術の秋。秋にはゆっくりと何かをするのに良い季節ではないでしょうか。本日は芸術の秋ということで中部地区の美術鑑賞の場とし

ての美術館についてお話ししたいと思います。

芸術の秋、秋は美術館においていろいろな企画の展覧会が開催される時期でもあります。

普段あまり行くことの無い美術館に一度足を向けられたら如何でしょうか？

美術館はこの近くにも意外と沢山あります。県立美術館、市立美術館、私立美術館等があります。博物館、資料館も展覧会によって大変芸術性の高い展覧会もあります。

愛知県立美術館は勿論、岐阜県立美術館、三重県立美術館等もドライブがてらゆっくりと見てくるのもよろしいかと思います。陶芸等のお好きな方は愛知県陶磁器資料館や岐阜県現代陶芸美術館なども良いと思います。

市立美術館は名古屋市をはじめ刈谷市、豊田市、岡崎市等々、この辺りの市にも沢山の美術館があります。各市のホームページで開催されている展覧会の内容を把握されてから行かれると良いでしょう。

(2)

市立美術館でも特異な美術館は稲沢市荻須記念美術館、一宮市三岸節子記念美術館や高浜市やきもの里かわら美術館等があります。常設展の部分でその特異なところを展示していることが多いです。

私立美術館は徳川美術館、名古屋ボストン美術館、メナード美術館、昭和美術館、桑山美術館、名都美術館、松坂屋美術館等々ありますが、私立美術館は設立者の好みも反映されており個性的な美術館が主流です。徳川美術館はご存知のように尾張徳川家に伝わる美術品を集めたすばらしい所蔵品を公開している美術館です。国宝級のすばらしいものを所有し展示もしており、海外からの旅行者にとって日本の歴史を知る上では大変興味深い美術館です。名古屋ボストン美術館はボストン美術館の膨大な所蔵品の中からテーマに従って展示されておりましたが、最近では日本のものも取り上げられております。メナード美術館は絵画を中心に展示される美術館です。昭和美術館は茶道関係の美術館であり美術館の庭にはいくつかのお茶室があり、このお茶室を使ってお茶会等も良く行われております。桑山美術館は中庭には多くの石灯籠があり、この石灯籠も必見です。展示されるものは日本画的なものや茶道関係のもの等が多いです。名都美術館も日本画等の展示が多いです。松坂屋美術館は松坂屋百貨店に隣接し巡回展の催しが多い美術館です。

このようにそれぞれ美術館の特徴がありますのでいろいろと楽しんでいただきたいと思います。日本においては印象派の展覧会は大変混雑致しますが、そのほかのすばらしい展覧会でも閑古鳥が鳴いているのが現状です。是非いろいろな展覧会を見ていただき、皆様方それぞれが好まれる絵画や展覧会を見つけていただき、芸術を楽しんでいただきたいと思います。

## 銀婚式のお祝い



鈴木文三郎 会員

## お祝い

11月の会員の誕生日…内藤正、伊藤禎康、加藤哲也、津田鎮輔会員。

配偶者の誕生日…霜出恵子(俱弘)、神谷登志子(光義)、堀康子(正剛)、太田典子(宗一郎)、伊藤裕子(禎康)、岩瀬昌子(正人)、市川嘉子(裕大)、深谷眞理(嘉英)様。

結婚記念日…市川裕士、平野和一、八木道之、羽田育哉、

霜出俱弘、岡本戯紘、渡辺富香、塚本幸夫、権田銀弘、竹内一正、津田鎮輔、岩瀬正人、鈴木文三郎、天野櫻子、中松健一、小川耕示、萩田繁、浅井裕章会員。

11月度入会記念日…堀正剛、石原鈞、大音祖瑛、山下雅則、吉岡秀記会員。

## 卓 話

### 「天寿を生きる」

名古屋大学 愛知医科大学 名誉教授  
長寿科学振興財団 理事長 祖父江逸郎 様



平均寿命、健康寿命共に世界一の長寿大国日本。長寿化スピードも世界一で、絶え間なく確実に長寿化が進み、今やセンテナリアンが4万を越し、超エリート老人の出現など、長寿時代に相応しい光が満ちている。

しかし、最近ミイラ化、白骨化した高齢者との同棲、年金のかすめとり、戸籍に残る幻の超高齢者など、奇怪な現象が発生、その背景に独居老人問題、貧困化、高齢者難民、コミュニケーションの希薄化、高齢者への意識変革、無視化などが見えかくれしている。また、認知症の急増は長寿時代が産んだ負の現実で、今や医療、介護領域で大問題となっており、その対応に追われている。認知症は老化と裏腹にあることは確かであるが、その本質はまだ明らかにされていない。

さて、人間はどれくらい生きることが可能であろうか。天から与えられた天寿は、120歳ぐらい。しかし、現実には、人間自身の内欲と、種々の病的微生物や、厳しい外環境変化などの外邪により、120歳の天寿を全うすることは極めてむつかしく、各人それぞれの条件により、寿命は多彩であり、予測ができない。一般的に言えば、人間は諸動物にくらべ群を抜いて寿命が長い。動物の寿命は、体重に比例すると言われているが、人間は例外的な存在である。また、寿命は脳の大きさに関連するとされている。

人間は進化の過程で二足直立歩行能力を獲得すると共に、大脳が著しく発達、言語、文字の機能を持つようになり、他の動物にはみられない高度な社会を構築、すばらしい文化、文明を作り上げた。これからの未来に向けても、これらをさらに発展させていくべき大きな使命がある。

各人に与えられた天寿を目指し、食、動、眠の毎日の生活習慣を規則正しく、体調を整え、プロダクティブエイジングに心掛けるべきであろう。